

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 27 日

上場会社名 株式会社 精工技研 上場取引所 J Q
 コード番号 6 8 3 4 URL <http://www.seikoh-giken.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 昌利
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 斎藤 祐司 TEL (047) 388-6401

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 3 月期第 1 四半期	1,662 (12.5)	△67 (—)	6 (△77.7)	△11 (—)
19 年 3 月期第 1 四半期	1,478 (1.2)	5 (△98.5)	27 (△94.0)	271 (△13.3)
19 年 3 月期	7,156 —	△74 —	73 —	208 —

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	△1 29	△1 29
19 年 3 月期第 1 四半期	29 39	29 33
19 年 3 月期	22 58	22 55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	25,916	24,224	93.5	2,624 60
19 年 3 月期第 1 四半期	25,910	24,476	94.5	2,652 21
19 年 3 月期	26,214	24,510	93.5	2,655 66

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金
(基準日)	第 1 四半期末
	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	— —
19 年 3 月期第 1 四半期	— —

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

当第 1 四半期末までの業績はほぼ予想した範囲内で推移しており、平成 19 年 5 月 24 日付で発表した業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 6 月 30 日まで）は、精機事業においては、次世代光ディスクが量産化に至らず、光ディスク用金型の販売不振が続きました。四半期ごとの事業売上高は、前期の第 3 四半期から、ほぼ同水準で推移しています。2 層式 DVD や小径（直径 8 cm）DVD 向け金型、次世代光ディスク向けのサンプル金型等に対するスポット的な引き合いが発生しているものの、事業業績を回復トレンドに乗せる継続的な需要には未だ至っておりません。

光製品事業においては、国内外の光通信関連市場が活況を呈していることに加え、前期までの 2 期にわたって実施した事業の譲り受けが寄与し、前年同期を上回る業績を上げることができました。FTTH 等の近距離系に加え、大陸間を結ぶ海底ケーブル等の長距離系通信網に対する需要も再燃し、アッテネータ（光減衰器）等の光デバイスに対する需要が増えています。また、光通信以外の事業領域においては、光ファイバーの接続技術と LN（ニオブ酸リチウム）結晶を利用した導波路技術の応用による光伝送装置は、地上波デジタル放送への移行という追い風を受けて売上が増加基調にあります。

こうした結果、当社グループの当第 1 四半期の売上高は 1,662 百万円（前年同期比 12.5%増）となりました。また、事業譲受けに伴う工場の統合費用の発生や、人件費、研究開発費の増加等により一般管理費が増加した結果、営業損益は 67 百万円の営業損失（前年同期は 5 百万円の営業利益）となりました。経常利益は、為替差益等の営業外収益の計上により、6 百万円（前年同期比 77.7%減）となりました。また、四半期純利益は 11 百万円の純損失となり、投資有価証券売却に伴う特別利益もあって 271 百万円を計上した前年同期からは大きく減少いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期の総資産は 25,916 百万円となり、前年同期から 5 百万円増加いたしました。期中に長期性預金（固定資産）1,100 百万円を、定期預金（現金及び預金：流動資産）へと振り替えた結果、流動資産が 17,726 百万円（前年同期から 1,302 百万円増加）、固定資産が 8,190 百万円（前年同期から 1,297 百万円減少）となりました。

預金の移動以外の主な増減要因としては、流動資産の中でたな卸資産や未収入金等が増加し、固定資産の中でのれん等の償却が進んだことに伴う減少が挙げられます。

また、当第 1 四半期末現在の純資産は 24,224 百万円（前年同期比 252 百万円減）、自己資本比率は 93.5%、1 株当たり純資産は 2,624.60 円（前年同期比 27.61 円減）となりました。

3. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第1四半期末	当四半期末 〔平成20年3月期〕 第1四半期末	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1.現金及び預金	12,781	13,947			13,399
2.受取手形及び売掛金	1,672	1,690			1,684
3.たな卸資産	1,459	1,636			1,743
4.その他	508	451			615
流動資産合計	16,423	17,726	1,302	7.9	17,442
II 固定資産					
1.有形固定資産	6,349	6,373			6,407
2.無形固定資産	861	680			728
3.投資その他の資産	2,277	1,136			1,635
固定資産合計	9,487	8,190	△1,297	△13.7	8,771
資産合計	25,910	25,916	5	0.0	26,214
(負債の部)					
I 流動負債					
1.買掛金	208	260			215
2.その他	670	838			902
流動負債合計	878	1,099	220	25.1	1,117
II 固定負債					
1.役員退職慰労引当金	139	—			—
2.長期未払金	—	149			148
3.退職給付引当金	226	249			243
4.その他	190	193			193
固定負債合計	556	593	36	6.6	585
負債合計	1,434	1,692	257	17.9	1,703
(純資産の部)					
I 株主資本					
1.資本金	6,791	6,791			6,791
2.資本剰余金	10,571	10,571			10,571
3.利益剰余金	7,398	7,046			7,335
4.自己株式	△313	△310			△309
株主資本合計	24,448	24,099	△349	△1.4	24,388
II 評価・換算差額等					
1.その他有価証券評価差額金	9	8			7
2.為替換算調整勘定	17	116			114
評価・換算差額等合計	27	124	97	355.2	122
純資産合計	24,476	24,224	△252	△1.0	24,510
負債、純資産合計	25,910	25,916	5	0.0	26,214

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期 第1四半期〕	当四半期 〔平成20年3月期 第1四半期〕	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
I 売上高	1,478	1,662	184	12.5	7,156
II 売上原価	900	1,099	198	22.1	4,765
売上総利益	577	563	△14	△2.5	2,391
III 販売費及び一般管理費	571	630			2,465
営業利益又は営業損失(△)	5	△67	△73	—	△74
IV 営業外収益	30	80			170
V 営業外費用	9	7			22
経常利益	27	6	△21	△77.7	73
VI 特別利益	404	0			405
VII 特別損失	0	0			88
税金等調整前四半期 (当期)純利益	431	6	△425	△98.6	390
税金費用	160	17			182
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	271	△11	△283	—	208

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期（平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	精機事業	光製品事業	計	消去又は は全社	連結
売上高	512	965	1,478	—	1,478
営業費用	457	1,014	1,472	—	1,472
営業利益又は損失(△)	54	△49	5	—	5

当第 1 四半期（平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	精機事業	光製品事業	計	消去又は は全社	連結
売上高	420	1,241	1,662	—	1,662
営業費用	458	1,271	1,730	—	1,730
営業損失(△)	△37	△29	△67	—	△67

前連結会計年度（平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	精機事業	光製品事業	計	消去又は は全社	連結
売上高	1,914	5,241	7,156	—	7,156
営業費用	1,903	5,326	7,230	—	7,230
営業利益又は損失(△)	10	△84	△74	—	△74

4. (要約)四半期財務諸表

(1) (要約)四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第1四半期末	当四半期末 〔平成20年3月期〕 第1四半期末	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1.現金及び預金	12,078	13,090			12,820
2.受取手形及び売掛金	1,675	1,843			1,707
3.たな卸資産	1,071	1,203			1,228
4.その他	675	678			713
流動資産合計	15,501	16,816	1,314	8.5	16,468
II 固定資産					
1.有形固定資産	5,505	5,365			5,401
2.無形固定資産	719	549			590
3.投資その他の資産	4,455	3,311			3,810
固定資産合計	10,680	9,226	△1,453	△13.6	9,802
資産合計	26,181	26,042	△139	△0.5	26,271
(負債の部)					
I 流動負債					
1.買掛金	424	443			313
2.その他	579	747			819
流動負債合計	1,004	1,190	186	18.5	1,132
II 固定負債					
1.役員退職慰労引当金	139	—			—
2.長期未払金	—	148			148
3.退職給付引当金	226	249			243
4.その他	190	190			190
固定負債合計	556	588	32	5.9	582
負債合計	1,560	1,779	218	14.0	1,714
(純資産の部)					
I 株主資本					
1.資本金	6,791	6,791			6,791
2.資本剰余金	10,571	10,571			10,571
3.利益剰余金	7,561	7,201			7,495
4.自己株式	△313	△310			△309
株主資本合計	24,611	24,254	△356	△1.5	24,548
II 評価・換算差額等					
1.その他有価証券評価差額金	9	8			7
評価・換算差額等合計	9	8	△1	△13.8	7
純資産合計	24,621	24,263	△358	△1.5	24,556
負債、純資産合計	26,181	26,042	△139	△0.5	26,271

(2) (要約)四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
I 売上高	1,363	1,488	124	9.2	6,202
II 売上原価	925	1,095	169	18.3	4,496
売上総利益	437	393	△44	△10.1	1,706
III 販売費及び一般管理費	429	471			1,828
営業利益又は営業損失(△)	7	△78	△86	—	△121
IV 営業外収益	23	77			150
V 営業外費用	6	4			20
経常利益又は経常損失(△)	25	△5	△30	—	8
VI 特別利益	404	—			405
VII 特別損失	0	4			65
税引前四半期（当期） 純利益又は純損失(△)	429	△9	△439	—	348
税金費用	152	7			136
四半期（当期）純利益 又は純損失(△)	277	△16	△294	—	211